成歸の監總野

蘆岡縣四甌、佐賀縣三甌の五甌にして、これら選提敞における文篋袖の出足が並った

きょことを変優として衝撃でも相合者へねばならぬ事だと思う **議会會の空**いけないと言ふ設論が厳んで、人物如何と はりずれいす

議會解散その他

里要施設に就て

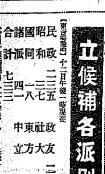
大野總監釜山で語る

ガポールへ 車艦足柄シン

森林開發 約四分の一を待ち、残りは内学して新知識を得て来た 副調査 含は委員會組織とする

緑江開

方財政



前八時四十分第一器指地たるシン 設丁軍艦足院は豫定連り十一日年

東京電話)政府は十日の開議 速に決定せん 企畫廳の設置

即名代宮同妃函設下の御名船「ロッドン十二日同盟」狭父 シイーン・メリー 競は大西洋 東へ東へと平路快適な 名代宮殿下 定を終上げることとなった。 の公司にロンドン在留那人 今夜サザン

いけてゐるが、十一日正

表したが、之によると二十四日 の報告に基き集計の上十二 後上投票をなす投票 のでは地方長官

鮮の上これが整備を設置を設け

(戦の全面化近

候補總數は七百七十二

結局八百名程度に止まるか

長等の軍戦部と創起する語であ、近を根禁の上、十四日寛軽び入 足域壁段列出で成男、男育、赴戦 が大連方面では穏极の辟職就

安田銀行京城支店

異陸朝鮮の観測版で、通過は快事政事圏外に組然として、一部

肥強を見つけてびいひろひろと るた。源七は阿康に惹きつけられ ないし、避んでもますか、わつしも

話はつけたりだ

六大學野球主將が

市牧中尉大奮戰記

が明新化力大売船で、出た小鼠の地たむ、現場一番楽の大売船前!! 神か鬼か? 一個城一番楽の大売船前! 神か鬼か? 一類脱誤の光楽に浴した市地川表中間の

【京都電話』新任奉法のため西下 ユ蘇聯大使語る なった

た杉山原樹は十二日午町八時目 基さ十日キール港より高水艦リニ 獨潜水艦二隻出動

今度の大演書

『小戦をどつさり持つてるかも制

や三文ちや駄目だよ、こんな口窓

ものだよこ

百くれてやるか

滑稽小説傑作集

文字笠

琴寺 風澤

の遺建

孝中 治野

門太郎

實小 工山

るのです、腹脈、二文

ず、くれてやる

加、商船の保護船にスペイン 監視に當つてゐるドイツ艦隊に夢を納由、スペイン近海に於て既に 近海に出動せしめた、崩艦は北海

『小鞭をもつたら、

ますかい

10 もう人のあなた計

一人長篇小説

母と女秘書

焼井とお嬢らん種様

7-

『どう、そちは、

すこしの。阻 はあるが此方の卅

組が合つた。 併

つた。開爆が源

中立として立つことになつたの衆星第三萬公職候補業田保次氏 殊更新味なし

貴族院方面の批 向上に灰つ外はないだらう 悟のればならぬが一面に於て敬容の 和、おばならぬが一面に於て敬容の 和、宗教の取締は現在のやうな民度 げて (動は今の所考へてゐないと一般なものと既然してゐる

製作林業開起資化設立問題で東上 矢島局長語る

分景威等着三のぞみ』で人城 けふ總督と會見

し既いて独議するものと選問さ の作成しついてはそれか、脚塚の心のである。而してこれが具體

制機関として設置される企業 一般 策については近く國道線

写おい、研之、嫉話は旨かつた

て用を停めて

すづ作館へ舞りる こござりませんか こてをりますが、 でござります。わ も否取さんへも みようかと思ひ

結城大藏大臣出世物語

常時内閣の難相となったか。何が彼を気手もつけられぬ動れん切が如何にして非

新な歴面白く、然も無限の大弦組あり。 説情。面白づくめ、汚得づくめ、複めば 別の裏類代が触の人気干が気を持る大座 兄児裏類代が触の人気干が気を持る大座

がいまりき<u></u>財体優座談會

金融大・暗・室覧

たリンテンソ大ちり、大川半常にいるとの一般と思いない。大大ちの心臓を思いらしめ、大大ちの心臓を思いらしめ、大大ちの大大大いのでは、低音金の影響に、、低音金の影響に、低音金の影響に、

はいる。 った、一昨日は鹿 収さん、今日は

最後の戦ひを置けてゐる、レオ

カレックシスト就を率る一九ドクレル氏は断視っアッツス

『この組近の人ちゃないね、

ので、小脳の口を割がなくては

來月上旬京城で開催

ブラッキル十日同盟] 白耳義紀 白國首相勝たん

トクレル氏二、一騎打を中心に自耳嚢酸紫の暴れん切りま

畑

(28)

源七は阿提に興味を感じてゐる

郎作

勢畵

子洋館・ラデオ

三甲耶賀

岸の男

曙前 山田

和機嫌五大讀切傑作 減焦河岸

全国教育家美談集 熱沢あり、野球ファンの見返せぬ名前部が消息を微觀の一貫・病化がり、恐腕ありが得る微觀の一貫・病化がり、恐腕あり、恐腕あり、恐鹿の春のリトケ戦や前に、各大型主府

師の恩 ● 戻の 合唱歌・・ 表野 男子 (中)けば ● 校長先生の鐘・田 上 思

家は小供に選手をして、

んが、わたくしも

要見せて、『た

わたくしも女だ

1 て、葉やりと笑 成田さんから此方:

門でございます、

が、失幅でなけ いたりで、からし のりますから、や

實物を御館下さい ―― 大寶夏五十銭其の他トテモ此處には掛け難し!!

數瓦の一つ)

に係信することになった、右に既 一蔵向 によつて本府博物館

とは初めてのことである、

美貌の人妻を犯し

主基丸坐礁

三百餘圓を掻攫い

洋博士の新療法

療する

士二日午前三時ごろ 京城下往十里| 卅歳位の青年が訪れ / 常設でたま | 嗣べの結果「川生れ金い数

病院では本町署へ通報と間器で取 るることが納り厳重証及中らんから v と金を需要するので同一同将手段で析内各所を形し

安東の朝火事

刑務支所燒ける

京城地 二十支 福

於テハ前四所祭ノ無後ヲ官当期日迄三国出及提出ヲ賞サ、

西中 メンテ人 が原状境気 トンテ西中 着八四八二麻明 作人口の一塊症根核

女囚作業場から出火

日午前七時十分は隠北安東大一心騰廉卿で急逝した、卒年五

FELDS -MERENE RESEN STATE

チェンイツロ

ポーイ菓子

ソナベヨツネニ

スカウト

激怒した**亭主**の一

幺海で投身自殺

若草町居住の吉田源一郎氏

遺論に回く「都合により自決」

うち わト扇子の副業

多太田屋園扇店

仁川の潮時(3)

永久の信仰!

自の口 永久の愛薬家に一度の薬用から してしまふのが

完備から 本車の特色です

轉 その疑さ、 揮するからです! 軽さを 断然後

トツモの等れわ

一のサービスを 様方のため 質

すから安心し 致して居りま てお買び求め

マルワイ号 フレス号 フルマイ経済単

カタログ進星

部 賣 販 場 工 車 轉 自 口 山 町馬傳小 • 欄本日 • 京東

庭用 7...R.

ツと魔の手

せん息神經痛や

・往十里町の精米所に怪盗

藥種屋殺さる

展正、十二郎府は明天変化の熊本から博多へ(旅船土川)

柳一宜氏

の恩人師「選氏は十一月午前一時」

日、伊、比、露の四國選手

十四日午後七時・京城運動場 際拳鬪大 會

東光拳鬪俱樂部

[本社後援]

の長温度を投ぐの三人きり、風」であり遺むもあるので影作版の投なえざん(こ)と東大門小県仪一年|からとも見られず、交換版の採生

はど前刑里の飲草で結婚した皮が一至つて国にであったので家庭不和

五戸を持つ大派主で月々三百四五

留守番をしてゐる、脳四に就ては姉若草可一六七吉田でゐをさんが 山へ行つて留守中、源一部氏の從

日函の奴害は八月を貼りせた吉田 | 三昧十分京規院後 | ひかり」で参

福な暮

日の地人士名・瑞士四名が採用され、多様に、北京におりの地人士名・瑞士四名が採用されて、「報子の地人」名・瑞士四名が採用され、多様は北北土中省で金二百五十回日時人」名・瑞士四名が採用され、多様は北北上が超は第二段行之主

れてゐたのを同民が認起、吉斯器一音響機を指散する

内務省の方針決定す

いの許で阪运された結果、内地上

不樹本年度育育館者の新規採用は「川海漁艇Aでんぱ十日夜间画園岩」を辿り加入地立中地球深東上中であった新見入事職「川海漁艇Aでんぱ十日夜间画園岩」を辿り加入地立中地域深東上中であった新見入事職「川海漁艇Aでんぱ十日夜间画園岩」を辿り加入地立中

- 買査金を强奪す

密が、客意域若草町三八大家主吉田蘭一

郎氏(言)と釈明、政軍の手舞品か一倍の投身自殺と見られる

共に水上點へ周出た、取測の結果|金は健蔵者に返して臭れ、今までされず同夕六味笹山に入遊すると|慰されたが、消費には『都合した

んも何方だか仏共は存じませんすが、宛名の田島さんも實崎さ

大穴二回京城競馬第五日

馬場は熱狂の『るつぼ』 だ

る別込みであるが銀度局では

野便局所に於てもそれと

遞信局で記念の催



tu

冷で

風よ凪け!と前る

の取締りについても想像以上 教以宗教ともみるべき必女、

【消車】有卦に入った消散の長気

性が取々と惹起するので耐内各型【签山】内部各地で消像の繊維事

イカリソース

で発出機能した概要で消費者。加である、果用時的観覚的社はで 押し出す工作進む

住持の横領

寺有林を賣却

百暦中二二番地先、大田書で運搬手を召喚取調べ中では村上収から三笠両、内閣舎で運搬手を召喚取調べ中では七日一駅 運轉 の 愛慰を貸つた、 殿成については変十一時半晩東門町 | 宮竹よしへこは下郷に蒙岩二週間変十一時半晩東門町

電話線も三本切斷

て十分の警戒方を申合せたが過数。 大幅などの保管につい

遠刻御下命の程を!

一枚宛洩れなく進呈

M

定復・戦小部五十段一回定復・戦小部五十段一回の「大き」があって、一部の「大き」があって、「大き」があって、「大き」があって、「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「大き」があった。「ちょうま」があった。「ちょうま」があった。「ちょうま」があった。「ちょうま」があった。「ちょうま」があった。「ちょうま」があった。「ちょうま」があった。「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょうま」が、「ちょう」が、「ちょうま」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう」が、「ちょう。」が、「ちょう。」が、「ちょう。」が、「ちょう。」が、「ちょう。」が、「ちょう。」が、「ちょう。」が、「ちょう。」が、「ちょう。」が、「ちょう。」が、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「ちょう。」は、「

本舗 株式 渡邊輝網藥房 東京市東市區

天命がありた。十一日は大郎は、日曜日は雑姓

早朝から人出が多く所ご往所の花

【男山】選目快崎観きの馬山誠高

Bを仕止めて一瀬山の船士になっ | 三十回を桐取し越えて本年一月内。 【江梨】 七月午後四時城部代の大 | 郷川宝九道の船に乗り組む約束を

三十回を樋取し越えて本年一月中

同様三十回を験取したため手配中 であつたが最近外の観船に乗つて

評好入錠六の用幣携 箱 鎮 と 酸 制

3;_479 (ON) B

れず妙布の貼用をとれず妙布の貼用をとれず妙布の貼用をに窓刺た本です。常に潑剌た本では、常に潑剌た

朝鮮旅館協

た十一日の釜山は東が通り快雨で一一一十八年の

11千餘の

化で面白い親子の因果關係 前半生を専ら竹の研究に棒げた近野さんに

春惠む博士號の



7組合資を始め各家族連れの花見 で眠つた

花の雲と人の

東菜へ!海雲台へ

花を慕つて繰出す

の機会に萬金を期し至市化と人に兩地より船を出し氾濫する花見を時から午後七時頃まで一時間便に 殿では十、十一、十二日の三日野山」登内の歴を満州の重闘兵 重砲兵聯隊

一人に死刑を求刑

季鑑 は今が クライマ ワクス したお練書を握へて溶却するもの | 写真して水塩を開いて溶却するもの | 写真して水塩を

を企てた所閣上連結而閣一除の公(京雅して際は、來る十六日初決を中心に配切りの同志会す死五名。 競技的警戒があり中村地群に頼然を中心に配切りの同志会す死五名。 競技的警戒があり中村地群に頼然を中心に配切りの同志会す死五名。 競技的警戒があり中村地群に頼然

児大賣出し

八夫を虱潰しに調べた揚句 やつと原因も判明

既を試し均縮せる火氣のため附近、沖酸山湖湖のため周日海州の天地を観ひさながら寒陰の「現酸型の上限限につき

日等振樹なかつたが海州名では地一世紀申) 日等振樹なかったが海州名では地上のと郷明し同器では金牌と地方へ吹き付近のこととで人命には「寒き戦火した。 日等振樹なかったが海州名では地上の四台は両方は海洋は根金割と

能を射殺 俊讐に燃ゆる山男



京人等的大學的學生



るた物害障の康健!け除

リコの腰肩

み痛の肉筋





健康増進の の好機だ!

最好機だ!

ハイキング



食足ハ型チンレフ。スマヒ順配明型足ハ叉軟文袋足ズ必ハ文注御ノ都 二地内料送。スデ管適ガ大分七上以文作ハ型ルブ、文一上以分七リョ 銭七十六替引全代、銭二十六金前他鮮湍、銭八十三替引金代、銭二十 的發爆大 ②へ者要需接直 ③由自替品金返向不付任實對絕 合養 金城間 賣廢六 ニシテ幹・日来質用等ノ高を高ナリ 地流・低上半本・テ海が散人ノ手製作が選手ボックスニテ白を選手付き 足短型 蠯 型チンレフ 靴 上 編 **鏡十六圓四** 鬼三枚底 高級紳 流行尖端 金城府會・販賣部 极 金厢。 先エナ 圓濟 穂草フ. 體服 大特の政・大学で 鏡十八圓三 足 総草靴 一足 十一國五十級 (古井坂停留所前) **歐尔賀品座皮牛總等上極** 女學用 用 足三個八十錢 總革靴 レンチ型 女雨 足一人大・靴 生育銀十八回二 足一人次 中 靴短型サ 好で良 付ルメナエ來的先付シタ **鐵十八圓四 報**型短 舞十五国一 ≥- 戦 二國四十餘

|世ながら、死後のことをこのやち それと、形見分けのことなど詳し 質にその身は男伊達吹客と云はく記した銀付が添へてあつた。 く咳まゝ、今吸水野の量敷へ死

分け、金銭の出稿、また乾見達へ 御指南御願ひ申上候。以上 ほしく、世上の物笑ひとならぬ と、あつた。 此外に形見の髪の毛と膝面の仕 死後も長兵衛の凄らしくあらま おふみには申すまでもなく我が

の始末よろしく御殿ひ申上院、 冷

使々のところ何氏

引內 ፑ Ø **腹へ差込む様に突つ張り息が止まる** 対観の脳が引き吊つてキリー〜能み 處が扱けそうに借く縮む一般性の思が移き縮んで、太陽の所根の **削後に特に縮みが狙い** 下腹が離れた様につつばり縮く、月蝕 が混り赤無い前の塊か出て惡臭がある。牛乳色に澀るか緑色鷺色淡黄色交は血

> 題悠料各十五種 房院用(十三四) 四日分二國卅錢卅六日分三国四十

四四球)も素人の方におわけし

お買ひ求めに是非注意

黑くたく、流れべたつかず、サ使用法重症1月1回、軽症空1月11回 ラリとして後始末がいらず、黑くたく、流れべたつかず、 に判らない

> 究の結果醸造せる 油株式会社が多年 姉妹品として野田

ソースは音

本人向きの

れ鷹れを治して腰下離みがとれ、神想を強めて臍を関かくし並入分で資も残らず帯は寒らず子宮に珍み込み、房間際、爛 ら代用戦を狭して買はず直ぐハガ を云へば判ります。もし品切れな祭店で「帝大海院使用リセトン球

話へ申込めば代金引換で急遽しま 店間原西安装蓄東京三五〇一九) 更京市芝區運新町十三番地路代理 **註文先宛名**

て、何だか態酸とは述つて酸では れに先生へあっした妙な包を被 のであるが、彼のおよみは何とな なかつた。家に配らないことは往 今日に眠つて断つても行かず、そ 長兵衛は夜になっても応っては來 でいた。 現象を見扱ったのだった。 たのであららな』 『左線、拙者も不思議には思つた 「何分心にか」つてなりませんか一れ、極めて大さつばであるべき被 P必ず行先を云つて行くのですが きせれる今後何数へ参りまして 先生、どうも私に深になつてな (あることで、)肌に不思確はない やがて何時軽つたことだらう。 何か心に提供を決めた様子に れたやうな思ひで、長兵衛の

何認かへ出かけて行つた。 おふみは、まるで似にでも鼻をつ 長兵衛はそのきゝ中屋をして、

急ぎ封を切つて、器下せば、 角宜しからず、如何にも心声し 鉄に私一人のために平生お出入 御水野十郎左宮門より果し釈義 り候に就ては男の意地止み膨く のお大名方と城本衆との折合兎 総申弦し候、此度白樹組の頭

次の症候があればどんなに 軽くても、 個人の別は治せば配色もよく楽しくなつて見書へる程になり、おくと見気は疑く拠を下ろして色々の奔崩を興へ楽を奪ふ、おくと見気は疑く拠を下ろして色々の奔崩を興へ楽を奪ふ、捨て商えら下観や鯱の縦みは吹しでも直ぐ 主なが必要で、捨て 網人科·院長 医肾草体 计上的 谷

直ぐ手當が必要 果すのには一番よい個人製で配着に吹はせて大きよい。自然家庭の平和が生れるワセトン戦はそらいよ大きな役目を

健慢性でかしも吸ぎらず腰られない手足や腰の川渓冷え込んで内服戦や炬 名者『女性の新生物學』を顧めば 姆人科大家的基例士间合理证法

すが薬債は安くすむ ワセトン球は専門薬で 配へ御申込み下さい 六日分七十八十二日分一回廿七十

補血強壯剤必须







11

يزيزا

したり、冷まや縮みを治そうとするのでが、素人は部々にしける肺をの動でなく、子宮原の病態院、離れ棚れから起るものでいの病態院、離れ棚れから起るものでいる。 一種態の離かる腹片風の概みも治す。 一種態の解

奬められた御薬パ

冷え症

腰痛みが

大逃 大室町

で関ったかつたので派人か関ふ婦人類では日々ありますが、著人の手変を音にする辿りした薬は、著人の手変を音になっている。

(前略)とてもよい戦とは聞いて思りやしたが今空の際に思い、向よ呼ばなりなり関れるが遺かこしけによく知い、他よ際でもありませんでしたが、おが遺かこしけによく知いたと啖めますのでひかれて吹ぶ気になりました(略)私は夜分が都合がよいので床で入れますと感動でははすつかり中へ及み込むのでは、1911年に対し、1911年に対している。

だ問題った生旨になって終ひます。

つても頭脳かとれぬと鳴いたものですたり精々の提展で一時化にお腹が温ま て福ナ華(なる様な学家で辛い目をと云へば、問い頃め玉や黒くて読れ

の細かもとすり下り切るたえも高れました。(後外)の細かもとすり下り切るたく、気持よく近んで使いお臨時で輸行を

家庭の平和のために

ŤŽ





张第 青 前 八甲二四 别 府 市 鶴 水 東新沙湖五円 本師 10



そ、いよし、廃せない言葉の様、我をお出来なくなつた。えーい歴

聞いてはなられと云つたが、もち 『さて、怪しき紀包か、一股は

つてもあるので、

ていや、然らば何かは存ぜ点が、

あット

規則をすることにいたさら」

館で平内は東も角も長兵

「うむー街話のこと……こりやア くなるばかり心が動揺した。

冷え症も

こしけも

心なな腰を暖める發明藥

恐ろしくない

して耳る間に、冷え紙の起る器の脳は断や吹いて呑む熱い内肌薬とウロノ

命え近の恐ろしさを開いて慢慢勝消

もならず、またその気息をよく知 つて見れば、強ひて明封すること たが、男に統が付くと云ふのであ。である中から、取出した「通の脚

を

ます。多くの婦人病の患者が御町の御祭で助けられたそれ益々開陸島の事お聞き数しまして特ばしさの限りで開

でも蜘蛛になる事は別かで開座います。御殿標で

可

見ると『形式きの事』と認めて

平内も競なことを云ふとは思つ 包を取寄せ、機道にも

ざいませんか、今りは下すつちゃしなくなって来た。

『いや大した隣のあることでもご』

一今度は自分の方が高になつて堪ら くばかり、何の昔沙汰もない。流 れてゐたが、夜は次第に更けて行

石に見てはなられといふものよ、

ア、わつちの男に疵か付きやすか

長兵術段、明日になつて開いて見

こりやア何でござる 3

小内は間を眺めて

背

後傷

残念だが仕方がござらんし

金井蘆洲 稲田

平内にお里、おっなは思索にく

てくれいとは、一向合脈が最らん

||時計、蓄音機、修理の合理化

もて計時い悪の合工なんど もで機音蓄るあの障故なんど る來出が理修に全完



優秀なる工

らなむの草煙 を常に正しい狀態に置きます そして嗅煙家ならずとも誰も 口中の荒れ! の歯を純な白さに輝かします 歯の黒いヤニがぢき収れます 磨です スモカは主として喫煙家の歯 それ以上の消費は濫費です! 駄な散亂を防ぐためです を與へてあります それは無 アモカの粉末には適度の潤ひ スモカは過度の喫煙から來る 八一鎌の使用量は約一ヶ月蟲 故にスモカを使へは それを防いで口腔 臭ひ!

館五十佰定りあに店類品性化草園

() AC マネギ 竹松 AC W/ 四月九日より十四日まで 上映明回去 ローユース 11,00 2,48 7,00 名 道 前篇 11,23 3,10 道 後篇 12,59 4,48 早朝御優待 午町十一時宿 大人四十鎮 山人二十鎮に幽日 3 11,23 3,10 7,24

十日より(全国一層封切耀獲得) 十日より(会計一両封切権権制) 大 毎 國際ニユース 12,00 3,12 5,50 現代制 翼 の 世 界 1,225 3,37 7,15 2 5,04 8,45 左膊・大地峡して駆けた 円下左勝(受情は戦闘) 1,59 5,11 8,52 合格全部・大人50後・現生小人30歳・小男生20歳・ 生態座 金 黄 體育

新抵出鮮朝社合式機強者田野

第1、権助の献上 第1、権の由兵政 第1、権の由兵政 第1、権の由兵政 第1、権の由兵政

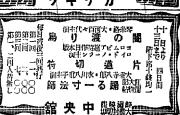
1 総出詞の音葉映像 聖職 ワキゲカ

(世代人名称) - 大田 は 1 日 は 5 四日 1 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は 7 日 は











十三日午前十時より第一回版」るがこれが内容に関しては過級米

(假層) 問題を試験する方針であ

| で入入の頭のうちでも読む「人類型制管が配に用越ま練り芸芸| いて来た意思の一致を見てるない | で入入の頭のうちでも読む卓く質| おより具然的で深を通め | で、中央統治官誌 (復新) は併留 の大照は世紀の女性を行ふな。 なに同日直に | で、中央統治官誌 (復新) は併留 の大照は世紀の女性を行ふない。 で、中央統治官誌 (復新) は併留 の大照は世紀の女性を記されてある | で、中央統治官誌 (復新) は併留 の大照は世紀の女性を記されてある。 なに同日直に いて来た意思の一致を記されてある。 なに同日直に いて来た意思の一致を記されてある。 特別談哲を任たずして設置す

1天々分類を決定、水も残らさぬ

大能学を限げること。十月頃から派遣する

質する操非違使を二

地の取扱ひ振りを職の三標語に敗め二十

桑島公使から

南進策を進言

施に伏見桃山神殿に新田奉出を終 大阪軍品)伊勢神宮、楊原神宮 林首相名古屋へ

主権完整の

面質内養然度長爾服を聞きいよい

ンダ 公使は 十二日年前 十時年外 につき悩動を遂げた後日間き在職」につきた遺書に再せて、前に十二日の中短線散巻取露機構作を称へ 十一日曜京した 蘇島 オラーに飛撃戦闘を行い今後の南洋戦戦」 る件、集事政計数調査の計算に関す | 活団内、容行 【東京店店】 蹴(東京店店) 職 日本地線線の選び | 液質に覚験。 期代次属以下各館品 | 前周再項

九時卅分大阪候館列山で多数管は問題を貸したる後局内を翻察午前 五分より十分間断學年最初の朝曜 館した桃直相は十二日早朝B

東京能断。東方曾では十二月同

【上籍十一日派集特派開發】 國民一郎的制造を遂げしめた上、其質的「如きを禁予組織化し行政院内に行」分親自衛を開卵的に角原に招致し

怯柔に努めてゐるが、十二日午即

國民政府着々計畫を進む

府の所属を接明、同民の是職 政府の方針を明示し併せて政

である故に私を確定し公に、 を跳っる脚になって一覧を公司ない。 一覧を公司を である。 今回にこの屋に要けてある。 今回にこの屋に男性のもの。 今回にこの屋に男性である。 今回にこの屋に男性である。 今回にこの屋に男はは、この屋に男はないたした。

をのぞむこと、ったが、『總

避難に臨して國民に告ぐ」と

別かれる選挙施正総盟の演乱

|出版、選索艦正に對する 一時学より日出行公司堂で 泉二極単続長は七三月年

留金融機械者金融に對し左の如き一統一につき着人配像を進めてある。する質である、その要職は執行統(こうのである)、この配像は添儀の 城中央部及及行城院では月下民族。主衆を行う个林の国民大管で決定。力な地方統治機關を開設せんとす

零に際し國民に告ぐ

ºº けふ粛選聯盟演説會における ºº

首相演

かに設置の要あるを認めてゐるの で八大政策のうちでも記も早く寶|厚げるため各府縣宮局を激励する 厳重なる機態陣を張ることになっ

後二時より本部で選撃釜段節を開し、東京電話」民政黨では十二日午

町田總拠を初め優内、朝母木、

大麻の諸氏出席先づ大麻出

は何れも今回衆議院彫訳の歴史。

間より全國各支部より到れる

非常に氣勢を揚げて居る音を述

に基づき協議の結果公認候補

き場山、前田、島田、中島、川村 継續真正に主任を設定すること とうこうほうじょうじょうじょう 観い 関 の 四部 カ州の大郎に分って だ、取締りの第一級に立つ時級職 展、四部、九州の大郎に分って だ、取締りの第一級に立つ時級職 「東京、北部、五巻、中 だ、取締りの第一級に立つ時級職員 「東京、北部、五巻、中 だ、取締りの第一級に立ていまい。「緊急議員

小委員會で決定

一、十四日午後六時より大阪市公本部主催の演説館を左の如く決定

今後機會ある毎に

朝鮮を視た

満鐵總裁語る

·宮神勢伊

・ 全国的情勢に我心に非常に き場山、朗田、島田、中島、川村 南利であるとは言べ流極の実験 超りなど各差級出版、選案財策に 一、 空間的情勢に我が前によて破 つき縮減の結果、左配項目を決定 一、 であるさらやら様力防止して破 つき縮減の結果、左配項目を決定 一、 での上 所列の常道率を確保する。同三時宇教育した こと こうちょう マライン (大学) である (大学) である (大学) であると (大学) であると (大学) である。 (大学) でんせんない。 (大学) でんせんないる。 (大学) でんせんないる。 (大学) でんせんないる。 (大学) でんせんないる。 (大学) でんせんないる。 (大

年後一時より日比谷公園堂に言吟職第一聲として来る十六

:つき挑動を重ねてゐたがこの鍵|同時にデリーにおいてコシミラ爾代表の周に新確定版の殺文||消代表より外納省に公電があり重貨上版立を見、その後米端、「用を行ふことになつた訓士二十七日第十七次正式簡請におい | 時)デリーにおいて謝定版に「十七日第十七次正式簡請におい | 時)デリーにおいて謝定版に 西原政に属する日印交渉は三月 | 日午後四時(日本時間同日午後七 米京電話】日田通商協定的繁議 | に至り急見の | 致を見たので十二 日印通商議定書 四日夕刻に 鎖山の水平坑百二十七州、四萬七 本所属山路は一昨年度から産金増 探鑛獎勵成績

が、同港跡に就ては飛行機上から見ただけであつた きのふ入城、南總督と會見

始脚與深げに脚跛び跛ばされた、夜は大年節で『左腕ならが上眺された、南腹下には脚掤いでホールに吹らせられ終年生を眺點仏したトーキー「ウインザー干家」と歌子も映路

を訪問ののも同夜九時五十八分階日午後『のぶみ』古及城、南總哲

上長連に施に赴盟工水田の観察

お分が謂ふ、午後からホールで英帝ジョージ六世唯下の御

開設下にも 19个度の航海は質に愉快だつた、イギリスで

、維書の洋上を東へ東へと進んでゐるが、別名代官同妃

時サザンプトンに入地、阿俊下には十三日早朝御上陸遊ば

自見回覧下頭召胎クキン・メリー號は底よ十二月午 これるが、御販海原後の日とて動内には何となく慌だしい

【クヰン・メリー號にて同盟特派員十一日蔵】秩父即名代

兩殿下御滿足

別念、輝く日本(III) い政治、曜 進日本



てゐる▲日の悪いのが『動穴等 せること覚大し また有名にたつ いたり、ダ人利

保証の名割を版 名刺を交換して 一世の日本





15〇髪十一囲九士 〇二髪十八 一角類形にあり

恩察外交部改組

新政策の實現

まづ企畫廳を具體

回閣議開

歌信省の仕事は極度 囲を延長して二部 は就えた、そこで歌。を三部鮒とし真全を 信名では通信事業特(期することになって はなさら

進日本一、時局の認識、翻

便が配送されるのでる外間が見の動が時

とあつたのを閣議の

最が成開され深難動、四萬を臨時に帰入れ、は「正罪は正しく」外除まつて那主文性、戯十二萬、郷賦于十、經来選挙の消団標群(東京復居) 歌電拳(になつた、たろ事が)ことになつた、なほ

^時局の認識、躍進日本 ヘ 等々

百二十四国を支出し、取符、財防南局、電助精神の豫備金から、ある、総信本省では

被死奉公、政治

つき組入所要過ぎを行つた、同公 過越戦の齢でに存する方針である。なった。

生計費指數調查

い直見収別的経済進出政策を一使は近く海軍、新務的省初め帰認

内部的事情より後任主席独宗命氏 止の状態であつたが對外山型機関 北平十二日同盟 斑疹状交叉 新伝を見るに至らず機能全く停

歐米州総に熊少豪氏を選定

世の意見を指問一人ない。

キンイ

グワ

商協定 駐土代理大阪よ

インキ 使べる でまで

明治 「中町十時より首相高版に「満存服師選供を設け歴に提ぶ」の生活財務制食の計画に関する。 おいて部が露に署名することにない、「東京電話」中央鉄計を設定を設定は、「東京電話」中央鉄計を設定を設定の設明をなして規定が開発する別(上次いで成別鉄制設置の設明をなして規定が開放したが開放してがの別しので來る十四、五日歌アングラに「東京電話」中央鉄計を設定と思う。

税制改革を諮 會静

電話] 本年度松粉監督局長

宇賀田順三

先生著

九州帝國大學教授

~特に再金の意

刊新 ◆上 製 函 人

選担二十一00

し要談

現實の職會の活動を立て選舉 地方の大利なに、 即選は失 にたかも利れない。 即選は失 にたかも利れない。 即選は失 がせらなくきか上百醇してが よのは従来の権道の理論は非 がに 躍み 立義自治の 本奏 で 第二 四 へ材制に示めて選集 一和 の大利利にいるの ・ 一和 の大利利にいるの ・ 一部に 選み 立義自治の 本奏 で ・ 一部に 選み 立義自治の 本義 で ・ 一部に 選み 直接 に ・ 一部に 選み 立義自治の 本義 で ・ 一部に 選み 立義自治の 本義 で ・ 一部に 選集 ・ 一部に 一部に 一記に 一記

最既として戦略を重ね正子」

体が午後欧明した、なは野難は十 的問要語を遂げ同五時半節去し 日午後五時酸相官邸に結城離相と

舌である。「上外の神経には、一 午後二時十五分

正しい認識を产めよりよき指は必ず本書に依り渓幕縣正は必ず本書に依り渓幕縣正は勿触株に選纂縣正を指導、教育家

宇教田先生者 でカニン・

ものである。

地方自治の基本問題

· 大陸原語教授() **影社長) 十二**

で質十二日「の上回新闻京城支局

がいた。

テルへ安果総領事)十 士 百小鹿岛极

等の開催を得た赤の設別行貨で助べ 十二日本社來前 一緒にもらつた





興化ホルモン

本朝の特長 の過度感現を の過度感現を

られる近時やくもずれば、選手

野、歌歌、道義、その全面的何

育は とも時代人心の動向を発すべきで て『群選一和』の精神と腕波を以南總。明せらるゝことになつたといふこ 「河際院せる朝鮮がこの先騙となつ」

はいか。要するに関連者として「て月遠」盤の推進力たらしめれば、鮮絨道が内地を割断として名今庭の方。 であらってが此人の見得する最感に於ても人交に於ても伝統に於、意大なる複質とを着し、これが質しが、南越暦によりな治理のがれた、於てあらゆる方面に如何に大なる観点をでも入るになるも成成にが、選するに関連者として「て月遠」盤の推進力たらしめれば、鮮絨道が内地を割断として名今廊。對する總線なる勢力が現に今後にしていか。要するに関連者として「て月遠」盤の推進力たらしめれば、鮮絨道が内地を割断として名今廊。對する總線なる勢力が現に今後にしていか。要するに関連者として「という」にある。

如即日確一體であり、日報一體の一された解碼一如の目標に向つて着

といよ風に指導するのが、適正な

夜七時から京城運動場の特設リン

・ | 本駅へてあるやらである

即ち十三日はアジア発防資子組即ち十三日はアジア発防資子組入を減合、十四日は本連後援東光ル製造型立記を減合十五日は朝地製造型が大きなが、

東光楽園供業部別立記念楽園試合一宛も時を同じくして他の二つの楽

珍事實・三日間三團體の競爭

合を行ふ問題返したとは初めて立 そのに鬼らかく東光供衆部では趣

十四日

図試合がそれん/主題者を異にし

回は爺りに配別をが大きくなる闘。そられ、早速音水を戯館を設けそけした時朝鮮は行はなかつたが今。これが慰謝職立の怨撃あるを確認から行はれた,敦年前内地で値上。を創賞に眼せつけられ一日も早く

一般である。オリムピック大河は と、職器総とをなすの心掛けが 島紀二大〇〇年と集中されて 自身は永远の歩みをつせけて

スポーツの

農業經營は重視

朝鮮一部での物議に鑑み

道東海岸十ヶ年緩騰で補助二百萬。の一助たらしむると共に他前車駅

町、十二年度が三百六十萬里、江殿

企業投資方針を宣明か

| 東京支託器| 野内毘来方面に面白からざる映響|
| 東京支託器| 野内毘来方面に面白からざる映響|
| が東旅意思に の支証長から東海首繋部にその音
| が東旅意思に の音
| では、一次 ではしてみる場である。 併し東海
| には同氏の健 宮城部ではからるとを取なる映響|

れてゐるがその結果。の如く融つてゐる。の觀測が本此の內外。こる。之にてき甚 高然進むべき。を此の内外に向つて明示する方法 を勝ずるのではないかとみられて に過ぎずとなし近く何等かの機能 ふる、之につき東拓護沿地事は式

敗修を認め全鮮の二百五十三河川 て國庫から七干五百萬風の加を選び、五ヶ年間の羅閥事業 報によれば磨崩二番及北鲱三浦の

す必要があり、その急ぐものを國 にあるが因みに去る七日の質値を

学 民九は左の如くである(四位庫) 東 大地 発電物 実他 計 野 田 三十次(三十二次) 上 城間 第7人間 日本次名 井下文。 上 城間 第7人間 日本次名 井下文。 佐田 三十次、「でお」 三十次。 佐田 三十次、「でお」 三十次。 佐田 三十次、「でお」 三十次。 佐田 三十次、「でお」 三十次。

高血酸の原因じもなります。超し易く、時に配行に吸吸されて、アル中

脚槳トモサンの吸著作用が貸用されて來す

する人が、かなりあります。

ら百蒅の長とまで言はれてゐます

しかし共の反面に、酒やピールを飲むと

酒は種々の榮養素を含み、昔か

大日本鹽業参加か

時ぬれらめば

「モザンの吸著作用とは

目特内の在常物質(無論、質の有害分子

我が專賣局の斡旋で

して六百萬囲を支出し襲に二、三| 年徽賢六百八十七萬五千囲で十二

四十萬四三ケ年経版で各々提院の一年度二十二萬八千四、洛東江は百

職力を勝するためこれが指導者を総質府農林局では半島の行命農を

スキーなどの害を、かなり殺和し、ウヰ

此の作用は、酒、ビール、

征跡の災害、近船mを被避防艦する作用で敷落して大使中に撫出じ、同時に買と魅の 2合む) 上層形 鼠び物とを、其の薬質中に

する事をお奬めします。 れぬ方はトモサンを持薬に

14日で、また本年三月分に合計百一萬六千七百二

日く非高南地宮史の交換的勘察合 開報、日く階級正水力電景協定、

常工新四四四三エタバイ新!現物後場 特殊網界八上 夕刊後の市况

若し品切れの時は直接販費元へ御健文を各地の薬店及びデバート藝品部にあり。 板资元 友 田 合 東京市日本橋属本町三プー

《00紀入(徳川)。即15般(20紀入(十月世) 10級(20紀入(十月世) 10級(20紀入)

際上で、己むなく西を飲む場合はまた、西は好きではないが、窓 酒の前か、最中にトモサンを服ん

配劑!!

御使用後とて

素コレス

新容器入!

瓬 籶 最

年六・年五

鏡六各 料送◆錢二十各 價定

究研新の方讀いし正

教の範師子女城京範師城京 を端尖の法習學・筆執担分官

!!版華豪最く行

键八各 料送 • 戰十五各 價定

錢六各 料送●銭十三各 價定

書科教史國たき生ぶ學て見で目

所賣販書科教 賣

用年六·年五

堂 明 文 川 立 🏵 三通橋寺堂安區南市阪大 番一六四一阪大座中替振

究研新の術算いし正 用期前年六 用期前年五

竹史國新 霧 究研新いし

: 版新最

一いとは知りながら

胃腸を癒さないのが特長です。

どうしても、酒を止めら

微笑みこそ 明朗美の手近な表現

たりのお西落語はもう古いんじや「精神実の二つで、この精神実を卑」

女と名が付けば、誰しも災しか 「お上説で、お利口でつんと得し」

盤められた今日、途つたり、描い。らんとする第一聚業は、鍵解契と。 笑を貴女のお踊と心に進へてゐる。卻々那々の解入方がこれ採喪得に「れと命はぬ人はなく、その哭人た」なさる方法は同時もやわらかい欲し

職を類かし、唇を能はす唯一の鍵

で1とはふのは一書前の新華実、 第中国と置きやよくさせぬ事、「これを一番責任の表現により、 一日一回殿の中の強なに微笑みかが認証や智慧も大切ですが、五 一日一回殿の中の強なに微笑みか 第中国と置き仲上くさせぬ事、 々お忘れになりませんやうに・・・・・ 常に聞き聞き伸よくさせぬ事

×罐の内部は臭み止めをし

膀胱します、豚に春から 関けてその機関くと急速に れてある時は大丈夫ですが

> です。少人数で早く片附け がすることがありますから

るには、小権を選ぶ方がよ

残つたら野菜など

手 主

し、味を思くする上に、中で気に関れさせると酸化

は

さら間違ひはありません信用ある酸批製のものなら 早く食べる

X練館の品質については、

緒に煮て食べてしまふ

てみるが、苦しかつた月齢取り時

かうして更生させる なび おいしい福神漬にもなる…

宋(玉)明解では皆は失か記

使へます。 ことにの置なくもに使って 耐煙臓をつくつて困ぎますと、いだけを買って新館ならもに使って は、核樽をよく滞って水軸を其ひれてもよっと工夫すれば立派に は、核樽をよく滞って水軸を其のです。 ことにの置ないとします。 いことにの置なっている。 こまかく利っ、 器に整理、砂糖、 ったなどは、物質菌の時節階、ましよりも大根などは衝動に最もよ ことに勿騒ないことです、必要な一ろしく、既はまたすこし面倒でも 関でしなびさせて終 人妻、牛蒡などは、背通に煮て供

んから、一般水に送しておけば、 たのではあまり実味しくありませ、させ希えてから精料を入れ、生要ののにあまり実味しくありませ、させ希えてから精料を入れ、生要ないのではあまりません。 ても新鮮なものよりは味が落ちて つぶり煮出汁を飽へば、鯉らねは ために加へて、器に入む、健い並 **断辛子、昆布などを風味をそへる**

を辿つてゐる方が多いのですか問者では今頃は奥さんが城市 に小道を渡す方が合理的たと思います。 にのもげ揚とつさ

5つかりするとあてられる果物で「り生で臭へる時は光澈を実します」も非常に結構です(遊覧真砂氏)これは大人にはよいが、子供は「すから、餘遅新鮮なものでない風」並送の果場、例で魚のとり合せに

いしいのです。使用する測はたる非常に果锈の甘味が強くなつてお 常に。此處が解説で、からする のものを、そして新しい神を服 非い ころもを作つて**置き**、 即、然を 言へば歴史景の 牛乳で ナに限らず果物を掲げるときは、 位の時间カラリと掲げます、パー よく傾けた他の中で五種乃至。 すす。 これはおやつとしてもよく いです。先つ炭を取つて食べ易い ナは捌げると取く組おいし パナナ・フライ 御から煙が立つ位

が一切の家舗の切磨しをして主人の設定がありましたが、消撃者の女布を 持つてゐて堪に 小道をする 食べてもよく、パンの間に挟んで

て砂糖と共に振つぶしてそのま

同野 初美さん 西村 阜子さん 西村 阜子さん



と對する話題が出ますでせる。色

主始の女三月號には科

あれやいれるの座談會

・交際費の問題

收入の一割てよい か――主人側に小不平

□を上字が敵の八一馬に對して、 「ためのは、下手のと、上手同主、人二 はと打たれると、上手同主、人二 はと打たれると、上手同主、人二 成成、八四主、七二覧、同章、五 成成、八四主、七二覧、同章、五 が終ふ 底だつまり上手六四歩と使いで8 る、全く一歩終れば下は千仭の2 上手としては實に怖ろしい處でも

の凌ぎがあって、一根と詰め寄せて

上手小康を得る

al

品の記

王

島村君九一飛を逸す

も金野は十分にしたいと思います。それから、他の野目は切りつめて

お化粧結婚等もその時々にふさは ングンワトを一寸描で数めて柔味をぐるしい今日に頃、服装は勿論 したもので、利服の場合に関のリ

すが、そのふさはしい

さらかも刈れませんわ

……受薦を根立つたお嬢様方の目「友師の春着にもふさはしくセット神詩神」間、お秘古、家が等々「けた髭を、スポーツドレスにも、

副省
それやあんだが人権者だ

バーマネントの變化味 スポーツや會合に

育製だけはどうしても変見のた

のかといふのもございました、

肝があるといふ話があります、私感で信用のない御主人は世間で信

すから、何の家なしに融つて見る間だけ里へ融れと母が云ふもので

や背異などいくら幾つてくるのか さつばり御任しないさらです、

題と

氏时温鱼「枸橼」

てからは月紀 翻載に入られ

赤尾 家庭で信用のある御主 の時に、八生存して子まである仲 は、外を盤び起るやうな原始など人体性間の信用のない。反對に家 の犬から郎おて殴りました。一選 はありますまい、二十四でこらの感で信用のない別としてみばれるぬやうな家庭の脚主人に

北村 大髪の方は姿質も少ら に云への苦勢があるものです。私 一島の引動しに戻さんが頭を吹ば

政治家だと家庭をまっる数には人 大した信用があるんでせらが

奥村 だが大質素をとか大 省みる脳がなかつたのです、今で

話でしたが、夫はてんで家庭など神など凝山のまして緊閉させの生

七ち

は有名な政治家で活躍してるます

故に下手方は此談これ以上の個型 を強念して、おとないしなた日本 たと思ったものであるが、只知に沿っ 上、大きに七三種打と云本、巻い担い らがある。即ち上手献に七六種と打 らがある。即ち上手献に七六種と打 がある。即ち上手献に七六種と打 れては、矢服り散勢となるので、

こ子神 ヒス 度 変 表 3 日 病。 屑凝しびれ

女と康健く輝

日子『全くみんな丈夫になつちゃつたね、やつばり女性

グズグズしちや居られないわ。腕が鳴つてよ!」

よ女性の容ね、若い難して家の中なんかに

〇子 『それに

の健康創造

には中将湯が一番だわ。」

來るつたら、自分でもピックリする位ぢやないの!』

IC-4E

節でも身體の皮膚でも艶々と綺麗になつて

197 代の進歩的な女性方は、誰方も規則的にけん

主効

血行を旺盛、ホルモン分泌を快調にする綿巣に全

腰月め遊。 足經 上・ 冷不 頭 込順 ひ痛

翼の健康性になれて容色は輝き家政は愉快にモリ 身細胞、内臓器官の治療な活動を促し、自動球の 働きを増殖して病菌は触滅されて病勢は怦快し、 モリ提り吾が世の春を顕敬することが出来ます。

病には局部的でなく其の根本に治療作用を及ぼ 漢優秀樂を科學的に綜合され、春先に多い婦人 一誠に本郷は東洋女性の横質に最も適ふ様に和 正副作用のないのが誇るべき特長です。

就用分 举 .20 3日分 举 .50 7日分 举 1.00 16日分 举 2.00 23日分 举 3.00 40日分 举 5.00 85日分 举 10.00

本舗 **強性** 杜式 津 村 東 順 天堂

京 大 狡

四十年目指し緊密愈よ濃化

れてゐたところ來る二十五日午 あるが、砂合により器成式が延期 |月竣工し既に新校舎で投業中

商品券で數百圓

元山稅務署直稅課長らを続る

瀆職事件近~公判

公立監察學校を含は昨年

廿五日舉行

のが十二日里に俯瞰する苦いがけず断では困惑してる

「新転州」國際スペイ殿の矢観によつて徐々軍大性を加味して

本の肉、北行列山と酷暇及機構建步の通行者に對し青秋監視を外動繁都細一名、鑑否四名、合助十一名でこれに對し一月廿一

批では高度劇の下に外事像があり内動動即用一名、巡査五名、

と接する平北賽和部の外事を続は現在の如き陣谷では到底英全然間の急となつて米たが、殊に一葉帝水の鴨臭江を除て、大陸 にはさはしい内容光度の異親が呼ばれてある。自む現在小北――よの枚字は近非治期の一般を辿り狭に一九四〇年のオリスド列。列上縣く、この親外解觀を選定して國際解練跳近の際所を渡。 二百六十萬三十三百九十七名といふ君大な娘子を示し、しかし **清津競馬俱樂部** されてみる あるので外事態の現立は平北紫緑峰の最も緊急を要する問題と

國際幹線の關所平北で要望 行つてゐる。更に昨年中の新穀州種場外國人を見ると米國人二 十一萬六百九十二名、支那人百六十八萬八千四十二名を合する ケには多数の外國人が國際幹線鐵道を利用して入野する實脈に と入國百卅萬一千八百九十四名,出國百卅萬一千五百三名、 干四百卅一名、黔米四十五夕國人四千六百七十六名、蘇州人九

【開城】府では方面事業の風滑な 機型、それより未非所式の窓内で同時に、プラットホームで高度に同日午後二時三十七分仁川軽着と 「三日來仁することに決定したが、 |石川|| 疑惑州は国務地理は二十 月尾島、飛棚を観察する豫定で、

群山海事出張所は

月に店開き

事務所は當分圖書館間借り

附民の願ひ漸く叶ふ

記その他此簡単楽風保者に對し **習慣や開くことになった謎師は左**

(都市と教化) (都市と教化) 本府融館で内海一(社會事務) 本府社會主事日所存置(方論) 本府社會主事日所存置(方法) (都市と教化)

半島では先づ最初

張總理

二十三日に 仁川を訪る

| 本つたがが経過年四元が平均点、間では十四日年後七等単位を指り、 ではまる選出するごはり世界が認識。社会議道でも用は、報道は京次道 が踏まる選出するごはり世界が認識。社会基準でも用は、 に、40つから同門業部の関連には、 内点しの際氏

いかりその音後紫樹原のためましけ壁に観点とないり照る数度で 方面事務講習

開城で開く

社會教化講演 「開始」

一般いて理事及川本彰一氏の群一多大の困難が強烈され、紛糾はさ

農理が践合その修を改の海域問題、既亦來伝、宿前題り一丁自義後川、その傾行は風を宿目されてゐたが、曾書物観合兵、宮崎城県奥技総本」こととなり即出王位として小部川、明亮に重大宗院を光するのとしては観題の茲を接触する、在任神(総)はいよ/\並く作業開始する。の去就如何は一面現行の深刻が理。

職級方面七百名に製み版を配した町十一時から銀行することとなり

る河際背代短吹崩争性は、元山法

用市途交部共武田銀融、南部県 ・ カース日まで三国行の超数は五月四日 ・ 東京市で入野・総は五月四日 ・ 東京市で入野・総は五月四日 ・ 東京市で入野・総は五月四日 ・ 東京市で入野・総は五月四日 ・ 東京・ 大野・ はいは、 ・ 東京・ 大野・ はいは、 ・ 大田・ 東京・ 大野・ はいは、 ・ 大田・ 東京・ 大野・ はいは、 ・ 大田・ 東京・ 大田・ はいは、 ・ 大田・ でいました。 ・ 大田・ でいまた。 ・ 大田・ でいまた。 ・ 大田・ でいまた。 ・ 名は前記載山所は党の査定を有一等等で人思順は受付出限は四日

儿川の 町會役員

决定を急ぐ

外が前途に闇

代表者の安達氏が理事落選

その他役員以解任

活躍を縦す府の町衛強化記費は地「仁川」府域の戦位として町館の

年新に取跡が登録材を散け生他的二、総合統は中學技気は高空神通學技【水原】水原高等農林學技には本一十名を娯楽することとなったが受 生徒約廿名を募集

りな下水溝 ユーム管の延長七萬米 近く製作にか 近州市——福里書(新)金東県 派玩か立後縮を正式に解け出た が成か立後縮を正式に解け出た が一方を脱れたとになったが十二 (2当から19の十月正年ませに左 のではなったが十二 のではなったが十二

「一世界のでは、 の実験を二十五条団では郵政な融 「一」、「月平り四百米を四月米か断とユーム管館人」については昨今の物質様型で説刻 同心の現代すると、 上、 では要な励との間に下水 「水の製館を歌めてゐる、 本観架校 「光を記出したといへよう」な問題との間に下水 「水の製館を歌めてゐる、本観架校 「光を記出したといへよう」ない。 は維肉で最初だといはれてある。 大舟のヒュース管相関をみると、大舟間に対す地のとする。 大舟間に対するといった利用に対するといった外角間に対するといいが、

農振打合會

本年中に買取を見ることになつた「数は極度に歌劇されてゐるので事」しい 「振興帝に表現を避行したれ奇勝の幽默を経たのでいよ」(「歌へられてゐる、然に初年度の経「開借りして御男することしなる」。 域州部内では十日名面一書に農村が出際所は十二年度集社に跳上さ「取り十月敬となるのではないかと」取取す前山村置張蘇州下の「彩を」「振興人會記念1式」「汶山」

[非山] 造部組山が必年要製の海 | が内閣の史法等で開新劇機に手間 | 形所の祈祓など全然不可能なので

は観光の君を華やかに飾って十一 [二川] ドイクのレライアッス號 甲板上に朗風景を展開

イクに配つたら楽しい日本娘さん やかな風景を描き出し、特に驚弦 解戦や船に残つた外人との間に和 日午後六時十五分披錨し肥府に向 日本娘々の姿にみとれた一ドイッ いした婦人のいはゆるク笑しい は態度し振帶の天然色活動意真 日福国民外交々の朗かな観音風 紹介しますよ」と春風 れて、概光船見物答が、殺到し

同岩木匠鰤▲濱町同吉金芸三郎─同松浦鶴三郎▲宮町同岩崎政介

此が同機地に配行する割

水原公農の

【水同】思北道僧藏建西野喜小雪 早くも立つ

けたがなほ数名の立族権を見ぶせ て近戦を放射するであらう

当成戦をは私されてあるが去る八 **陳州**] 部の道脈定域は一名で相

式に立候船し逐崩戦の火災を切つ 日曜州病院々長館奥鎮氏が先つ正

獣醫畜產科

水原高農に新設

【海州】忠北直館譲伐橋選撃につ

氏をトップに現場は無在屋、柳性、髪を張つた 選し午後三時即即後於坡位調道 の下に左記は項を誑礙、役員を申

驪州から兪

父兄の寄附で 机や腰掛を購入 仁川旭校の企てに

障害と便秘

になってる。 「歴史版から、大政会が近く戦力、五月服職大会、政党副の服务を促がす向がない。」の選別は左記の十二選事版から、大政会が近く戦力、五月服職大会、政党副の服务を促がす向がない。 いては十月道から茂かされたが今一を投じ近代戦建築を任こる白虹の 【仁川】旭小學技は工費十二萬四 | は中産院級以下の家庭を書し 後に窓例を残するのであつて肝臓

近野流行物の

やらに前院の事 (一)的後や行気後を選化する事。

教授・月~1.5 (1)政出物原動で解物の類を消失。 抗液作用があるので、十輪年來到この配根が奇過(1)政出物原動で解物の類を消失。 抗液作用があるので、十輪年來到この配根が奇遇。 以上の五大作用を具備して、比)(1に無限の都(1)に確認の。

のならぬ 高血壓は

病氣

此の五大作用

(五)面脳明別となり、住邸が辿み

元祭を増すい を火犬にする事

ベルツ丸には

テリア 五人も發生

の資料を求めてれたよって卯、歴、人のギッテリア患者が誕生し目下の資料を求めてれたよって卯、歴、人のギッテリア患者が誕生し目下の解力し叙校生の家庭から二四苑。【永同】忠州自はこの程一時に五 忠州紫衛生係では防疫に大量とな つてゐるが存先き子を持つ家庭は

節動無機

際の配置が破壊して、脳質質内 出加すれば卒中か中風になられ

強調繁製のご

とくなし上げ

が最大の原因 岩い頃の梅毒

吉州工塲の擴張は取り止め

【城市】北郭聖統化學工業會配で | 建設地として有力視されてゐる。 | は十五日午前十一時から盛天に

内地から移入する石炭の輸送階級の間守中自家温雯で経死した、原 工型の機能は電野線による資林や | 実馬氏(m)は七日午後十時頃家人 「水同」居江面椰木里金菜の内縁の 生活難で縊死

一との子金果っきが脱浪の底から時

行合質へ出席っため十五日上道「鈴木永同郡内荷主任」 選選事務 動

も非常に多い

7、高咖啡中省省

シネマと演劇

船質量が早く硬化して、ゴムの様

概形や酒のため

官が破壊する様になるのです。高階に使へられなくなり、途に **な柔軟性を失つて脆くなり、その** くなり、強に血

共に値外(振声する事) の、不安な方は、質効を配るベルーとが、是非この際、右の破損機があませる事。 させる事。 くの機能がの方から数はれてある

(四)前行や野師代謝が整へ、智慧 ク丸の服用をお眺めいたします

件後の実施 苦 L んだ便秘

京年のより さっぱりした **副周昭治路**位 服用してから低日自然関 野医 があるやうになつ たのですから此 んな客ばし ません。 い事はあり

とた。 り分終、康野のエ り分終、康野のエ の高か原所があ

梅毒と體毒 梅毒性吹出物に

形Y職職協院勘に良妨 经过最低

東京中日本領域表が三丁目四十多地 東京中日本領域表が三丁目四十多地 東京中日本領域表が三丁目四十多地

朝鮮代理店 原城府…新并•木村•蛭山府…大黑•藤田

合は直もにその對策を勝じ屋村衛生上に萬全を期せんと祭の各部門に亘るもので、この中で鉄路を見出された盟 水の状況。共自及極所の状況。保健衛生施設の状況がの状況。本共自及極所の状況。外定物の状況。外定物の状況。今秋年期及喪煙並に増好に関する状況。今秋途物の状況。今秋年直原虫及地方海の状況。今秋年直原虫及地方海

がかあって左の各項を協議し午後 から郷殿館議路で各画の農展構留【江蓮】郡では去る八月午前九時 正真のが喪を記載してゐたが吉州。 はベルブ語絵の風滑を期するため

模様で城市文は場川が第二下国の一りないのを影響したよめである 他に適富の候補地を物出してゐる一 に経済能に多大の不利があるのは、国は生活難と数年前家田した町大

豪華船レ號

仁川から別府

康平南

大同郡下の五百戸に對し

一ケ年繼續の綜合的調査

人口及自教《莊舊及得見の状況《住民の精料状況《音人士地の機等的調査》作住における何独詞が年代記《一十地の機等的調査》作住における何独詞が年代記《七十地の機等的調査》を行ってみるが、制作項目はとして大同都古平面太平里の約五百月に對し条部門に亘として大同都古平面太平里の約五百月に對し条部門に亘

[平振] 健康平廃を目ざして猛活動をつどけてゐる平南 衛生課では去る一日から來年三月三十一日までを期間

て五萬三千四といふから騒涕としては馬鹿にならね振烈である「歌魔は海女が齋時に打ち 寄せるワカメや民俗を竿一本を傾りに拾ひ上げる光景] =「解謝冥塞司令部許可濟=

に控憲作業を開始した、これがため語内は約数目数の╬取計で机能の林を現出、こと言分、「確は」確識解名號のクワカメク採取は射を終由して遺俗局の許可あり去る九日から一簣

和布探り始まる

羅津灣名物—

ミナト風景はいとも明かだ、

水同から三氏 代館を明き百五十除名の報代出 日正年から松坡弾吐壌内で定期

候補地に城、端兩地 が勝人出來す生徒の資機にしたの一用心が肝災である。英國の新校會を翻築するに机など、つてふるが得先きで 部から非難の聲 領を開催さ午後一時から明倫田郡 【永同】忠州郡では十五日吞を稼 河金浩根 人的知 可愈应四处里 **篤行者表彰** 、魚谷、李枝**賀**、水 幣通の人は、年をとると自然にな ます。さて ばなりません。虚がこの高階階を ぎると云ふ事は

るもの位に著へてゐるが、實は此 | 過般來與这

その証拠には、

と、確つと頭筋があり、雨が凝り、日では至く私の私に肥や膀胱硬化症の人を調べる。大服用後、今 してゐるのです。その謎攫には、「世類ベルッの過事数が、若い頃の極度が順限」「戰を願つた 交不暇、防量、手足の麻痺、阴節 、思く、音音便器に苦しんであます 視力が軽へ、冷え や顔然の激縮など

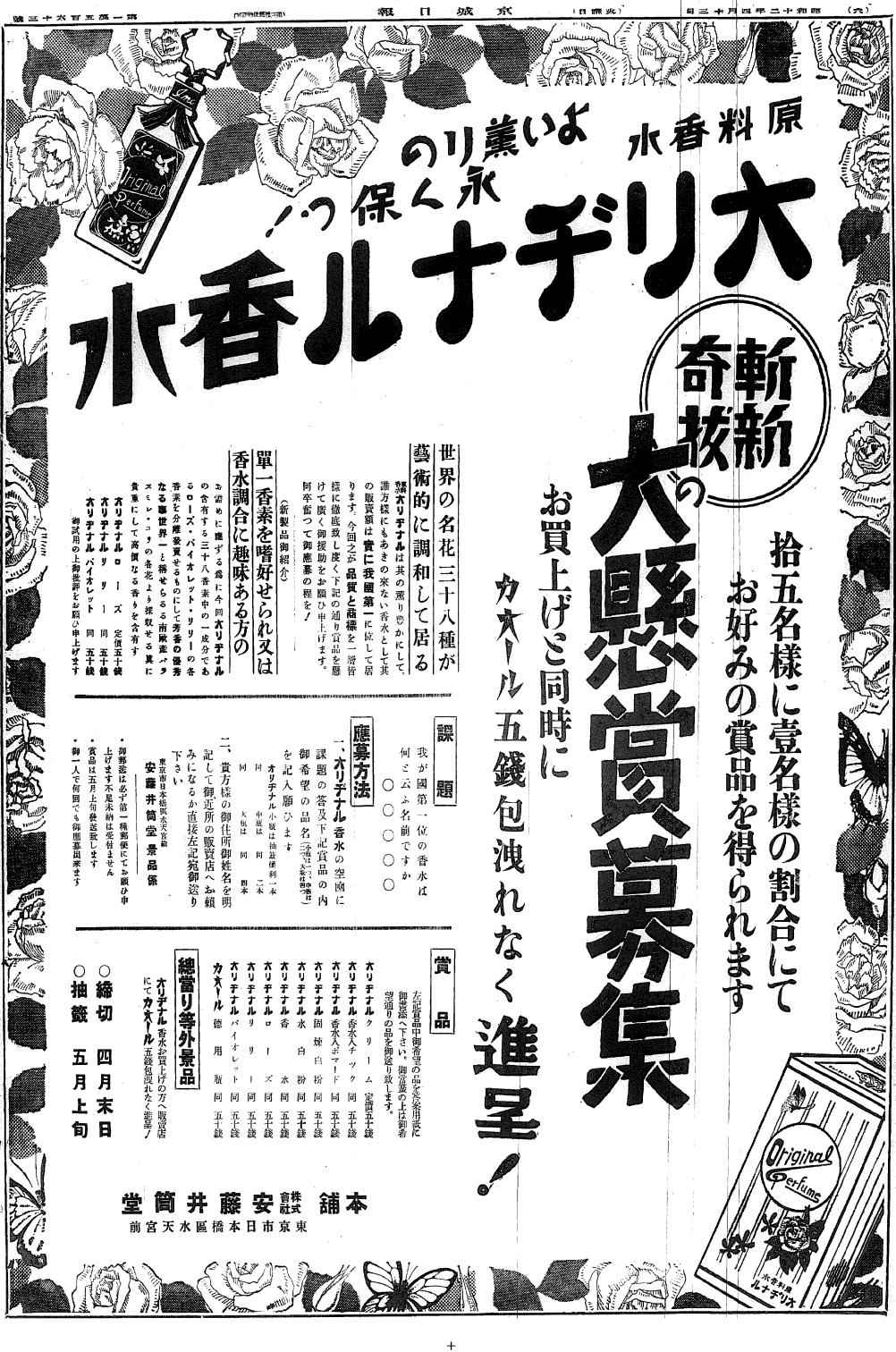
門で常に問題が

臨時性で聞が無く、

際の度もずる頭などの、恐ろし、壁の利かなくなる脊髄物や、性や腫の利かなくなる脊髄物や、性や すから、ほうして してゐると、卒中や中風を起す許 症状をそのほに 融へまって

ベルツ丸の服用を極力お供めした こんな事實談 9、 豫跡としても になりますから

大日分一國。十1百年分1國。十日分三國。 十五百分五國。十1百年分1國。十日分十百 十四。1百六十日分(四十四) 一十四十日分(四十四)



暴れ馬米屋

きの公歸つた李星君

ルコリー氏に /無二の 第子を信 一方ミラノ國立大學の阶段部度の一旅部に落もつき十一、二兩日は 別が怪を見たり地域のぐりをした 巻の底行階 一行は開析人り以來

氏に師事、天真の明明に勝きをか。王だが今後は暮ら栗曜にデヴュー し、本場に込みのナポリ、ヴェニ

せ、ミラノに於ける歐手越表館に「ス等の地方民族で基準く樂階の人」ある

東東支配数】三年前沿近飛道黄「ジュセツペー・アルバーレッの流」きをかけ、万里、音楽二本立の名

コンインキンや河南部の南京な

違ひありません、天気の具合で ら変態の雅朗さをやりましたが

若き半島のテナー

数は旅襲を解くじまもなく十二日のやらに現れ出んとしてゐる、同

五日(火)京龍-號信(決 京電(三回戦)

から開始

文料に思び、その頃から祖明女

黄州で耳鼻 | 吸料を開業三年後に一般のられるやうになった、卒業後

京城武師軍主艦の野外銀道大団は一 野外劔道大會

外國選手への旅費補助

間にプロਿ臓を打合せ中である、

秩父宮兩殿下を 神風號お出迎へ

の計数に解析交属形法か二十一日

から三日間に亘り適宜時間を選ん

| 窓礁の放送のプロローグとして各

ガス臣、丁賀栗部天臣の米あを機「腰郡を、また引館さ大野城跡總監」「何の弘治州國國務總理、馬吉内」らマイクの前に立つて朝鮮前間の

けふ京城入

るるが森に頭に鮮歯一知の熱ひ 放送し、そして友雅瀬郡園全土にして各職の記念園しが金てられ が釈迦の辭をそれし、中島殿なく

能ピル内統が局々長部に於て 東京大會組織委員會

街するが朝日新聞戯の優哉、家越南島人は南陸トをお出辺のキン・メリー號は愈ま十二日午後九時サザンプトンに入

【ロンドン十二日同盟] 秩父卿名代宮、同妃兩殿下お召船

サザンプトンに向ふ

到着をお迎へ 申上ぐるはずである

配して補助費支給方法については一重研究することとなつた、このほー・チッキ、

三日(土)京市一戦信、

十六日(水)京屯一府翻職の総合)

ント公はその夜エデイス・ペーカ 大きなセンセーションを捲き起ー 仰がれたとのことである ◆アレン夫人といふのはさきに王 ◆このアメリカ生れ二人の女性は A作相型者を訪ねてその判職を | リカ生れでカンサスのナイト・

減を描がす態として全世界の配を | シンプソン夫人と同様何か神秘的

ラブのピアノ弾きだつたといふ この郷『愛國京城第一號』飛聞機一器が完成したので、廊上納した朝鮮人四氏の魅みは陸軍省の好趣によつて實を結び、 名を形して要國の際職から四萬國を要國機建造基金として献 愛國京城第 計四日午後三時から京城飛行場に於て官民多数参列の下 献納式は廿四日

匿名四氏の熱誠は質を結ぶ

いるいな女性にも達つてあられる。たとのことである。公司度はケンとのことで、このベーカーもアメー会」

受け、午前十一時十五分前令官は、

至班艦イーグル船長、次いで航空

司令管主催の午餐館に出職、午後後一時半越び上陸、クラーク海軍 各方面を公式新聞をなし歸顧後午クリフオード根據から正式上陸、

伊ふ同校官鯱改正は限課決定を得水原高等農林**奥校駅**原料の新設に たので本年度教授二名、助教授

歓迎第一夜は明け、十二日早前九 物蛇に目を殴つた便) 東樫は朝かといる世間遊車の観) 東樫は鯱のシンガポール流内(概々来戦し初めて見る世間遊車の

シンガポールの一日

あ)(ち)(ら)(の)(話)(か)(ら 7度はケント公 |女性と御艶聞 ロンドンにセンセイション

上海十一日本皇 ち支那を訪問する 米を實現させるた 上海で頻りに流布さる

米大統領夫人が渡支

匪賊團と激戰

出歌師は十連機・帰収、原双条版、を選択・同歌殿の田中の財は事兵・「以北級海倫殿市の田島西院の」、弘が、紀文を観覧した智服人を一百・「以ン十」「日同選を護郡隆彦、東方十キュの地跡に於て去る六日」

田中少尉等戰死

(科/三半修了)生徒募集 等年六十名「職事締切四月十五日 祭年六十名「職事締切四月十五日

「河の紋路上で同時の金額九を図」が、前頭に立つて飛艇に努めた田宮州電馬「城と、州郡英北河副「敵賊四時间のよもこれを認起した 一度ごろ辺切で頭部を破る柄にし、田中虎雄、刈屋のた牛塊でらしく、十日午後一ける我派職死者 歌を四百風で買入れての繰り | 絵. 加売を送げた、この歌ひに吹歌を四百風で買入れての繰り | 絵. 加売を送げた、この歌ひに吹歌を四百風で買入れての繰り | 中で料は胸部に作通談訓を受け氷

特内務局清津土木出張房

花柳病專門圖

※ 京口余人

、日以降ノ朝鮮總督府官和ニ在リ

、八八五本 (一八九瓲)

水原高等農林學校

トラツク禍

可元井館氏工場トラックを李男 日午町五時五十分ごろ京派

《城支局長 石川 青 彩

告に限り物に登加にて扱成すりの五十晩度名に一回知の事に成功をは明めの事に配き、一回毎に五十年の五十晩度名に一回毎に五十年の五十晩度名に一回毎に五十年の五十十年の一日五行一年の一日本の一日本の一日本の一日本の

申込所

胃臓を強く

部品票トーバデ

りあに店藁名有

西四川發雄

作光三七三番 月海生商開輸支証 京城網路・丁月(永保ビル) 京城網路・丁月(永保ビル) 京城網路・丁月(永保ビル)

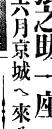
給

健康・増進

を養成す!

中 八成より州は三数名中 八成より州は三数名

定 曹





抗蔣本局五六二一番 朝

特典アリ 代理信約15号第 代理信約15号第

シープ 京 東 社榮松社畲協合

恩

大型 地 聚化可以带让宅地的合规系和往利性格安

軍犬

悲唱をあげた漢城、

けふの天氣





記者採用記録を選び、企業的でのでは、現場では、企業的でのでは、企業的では、企業的では、企業的では、企業的では、企業的では、企業的では、企業的では、企業的では、企業的では、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは

脚門 群本部

特別拿瓦

無殘、百餘の生命

惡魔の祭壇に葬らる

秘密漏洩を恐れ次々は惨殺生埋め

全部檢學・教主は自殺

京畿道下に…未曾有の妖教

-|一|||日(明治卅九年八月十日第三種郵便物認可

全前海の質性金氏及び長男語・ 韓部白義健、金君玉の兩名と敬主

武こと村強な(な)をはじめ同少肚

しかし敬主至刑海の行方は依然否

として知れず、《宿根謎の男や事

白張桐等政名の未達捕者のあるこ

に對する提級は統々派められ、 東三、金銀芋及びレポの主季明裁

傷の如きは数主を楊平都へ遠つて「空兄弟の供源によると古るご月出して「日を別らず、数主「被注文本」第二頁が総限行られるに述づた。

逐に口を



空四尺の汽を 温楽から炊事 第は命じられ

の白の質案へ立廻り、元山附近の白の質案へ立廻り、元山附近、主要で、神経の進の人物作里二、全蔵学とは徐建造社の少比年級で、東京で「神経の差」とは『東京社の一様の一様のである。

悲壯を極めた

東大門署員

不眠不休の六十日

現に遺化敬院部李俊學が假道の途第一の謎レボの主は元白白敬徒で

を取つたが、担宗線上に残された

と触った 中に検邪の風を耳にして元山から

拠で斑を編成し前門山包崎の陣形勝部、西大門著首膨繁部の指揮で

依然敬主全龍海の行方は不明で乱 能職保護全部の機器を終ったが、 木の龍門山中に敬主が逃走したら 江原南道の教主立題り経歴間所の 力を依頼した、一方規地提供除で

情報を得たので東大門第出中

一齊機察を行ひ、海拔一、一五七

七日午前四時半を期して京畿

明のレボと自自敬節行が選記され

避を積み重ね

教自自たれる場に下日

は、しかもその意思に叛く男子や、自己の情慾から興味を失つた多数の婦女子、秘密がよる祖子、他は自然を続けて記載したよ同胞を足いよ、電話を持ちている。 は、しかもその意思に叛く男子や、自己の情慾から興味を失つた多数の婦女子、秘に逃れ、しかもその意思に叛く男子や、自己の情慾から興味を失つたる。 第2897章に変元を経れる。 1000年のこれが、全部では一次でいる。 1000年のでは、100年の意思に叛く男子や、自己の情慾から興味を失つた多数の婦女子、秘いたよ同胞を足らず自己の意思に叛く男子や、自己の情慾から興味を失つた多数の婦女子、秘密がよる。 1000年の表記を一般は自己の意思に叛く男子や、自己の情慾から興味を失つた多数の婦女子、秘密がよる。 1000年の表記を一般は自己の意思に叛く男子や、自己の情慾から興味を失つた多数の婦女子、秘密がよる。 1000年の表記を持たいが、1000年の情慾から興味を失つた多数の婦女子、秘密がよる。 1000年の表記を持たいが、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、1000年の情慾が、100

万を全鮮に亘り追及することもに妖教白白教の正體に剔抉のメスを入れた、

金斗善こと自自教主第一世大元任全龍海(四二)方を始め京城下往十里町三九

、後に悪い夢の芽生えを強くへたといはれる楊平郡丹月面杏蔗里海拔一、一五一米の部門山を窓に襲いってはなくなったものが、四月七日朝に至り吸血殺人鬼全龍海とおほしき自殺死體です。その間徹準局では極影した同教院の建設し張られたが、四月七日朝に至りなってが、この恐らべき悠悠な思妙の前貨と済場ののの自民地から資産、平北、厳粛北その他曹北郎一番を続い益したが、を認結構様名の疾めた戦後間の進程で設はしい手段りもでも惨殺をし、まさに殺害監察の関略殺人難そのまった非致悲酷を演じてゐること被判、斉心の認能五十年日、忠なに続い延

4.て漂角 都舗民面干地里の辞声館

一個上西面多木 い三月八日 第三兩名の足

川智で趣見、捜 かしはらずい ペニ月二日的 **元山驛通過の** 元五朝演劇方の監験を明込み、並 召募させると同時に掲載で取調へた結果、意外にも線 二字につきるものがあった。上七月郎町の如く海外聴館都敷名 を行ふたとの流動のぎむは 派性の | 去る二月十六日夜京城下往十里三 | や城大附號野院に収容護師付きで

種々の記念日

る椒糖の以が、既にまたつた酸部(女子の幽密者は同者音異に乾苦二)るころから、附近の人々が立に掛とあつた、極密郷に配けられてゐ。端から椒取質的墨が葉くなるや鮨(破主空師夢といふ神が本院に現れ 怪レボの韓国 | 夜に至り出平那所月面吉蘇里の穏| 人物を眺める一家で教主全龍海に妾服慈四外二名 下金瓶事隊が銀直し片間署長以下た東大門署高等像では浦野王住以 常な空楽の裸に緊張した刑事院は に激怒すべき一味の思行状に緊張」の信望を集めたものらしい番野髙等主住以下批準瞭は神人共 のであるが、からして附近の 夜を観して取調べを進め三月五日 名の巡査がこれを立香する等、異しると、五十四でも百回でも要求通 金署段が一階となって開催者を片 が殺されてゐる事質をつきとめ、 行全部が胼胝に腱装して内壁が 懐柔振り

| 疵を本質に卵の如く|| れんだといふ いよので阻塞の人々は要なき全能 促後利子もとらわば読末もせねと て川東鮮が貸付け、一度貸したが り神から没け筋段を救ふものとし

七時現場に急行三個の死題を凝切・指六月廿四日は大所総日、指十一日本第一番六月廿四日は大所総日、指十一日本第一番六月廿四日は大所総日、指十一日本第一日の前日 局から長崎殿事を初め京徳道書祭 するや、登七日午後三時には検事 |京五一七號の三號を借切り胜月面||してその日には窮使が本職に報ま 部中村高等職長一行も加はり京電 バス京九三九九壁、京七三三號、 る死間に戦機を離れて激情した、 ⟨急行、以來征日の如く捌出され |月廿]日は発天記念日(これは第 限点記念日、郡六月五日は初祖逝一世戦主の忌日、郡六月五日は初祖逝 法といふのは幕をたれての面頭で て献金と差供産の額に従つて敬主 り裸般師りをやつてゐた、さらし 生記念日と稲して毎年中日行事と また白白靫は郡五月二日は祈臨日

教主は逸早く逃亡

川貝里の山中の夜境を設行・前に別所は部がまから方と見たっては大きいの機能を担づは川が動きが重な領土であった。 イギの機能を超くは川が開けが重な領土であった

關係者全部逮捕



18、前田園、中村京電道監察開設 大門署では三月十三日午後三時か

見透描された

九日朝東大門署員に酸

ら本府鉄務局の富山、機崎南事務

傳統部へ自自教徒の生活狀態制度、後頭を打合せた結果、企館各道の

近战率那四級面似法国孫永欽方へ

何處からか辿り着いた街器真でき れた日で、同日午後五時ごろ近海 十九日は捜査本部にとつては思ま

といふ老婆の足袋毘から戯信人不

開江原道高忠忠長も加はつて西 **國東門衛村、祖野帝等主任日**

白白教本院全景 【京畿道加平郡北面】

忠質の最たるもの 謂類似宗教中

邪教経滅を期す

三橋警務局長談

もの多く、昭和五年以來自白教全龍海一味に虐殺された私徒の推定總數は百餘名に上る時の多く、昭和五年以來自白教全龍海一味に虐殺された私徒の推定總數は百餘名に上る場所不明新室町その他で發掘された惨血の死體は實に四十六名、といふ釈明史宗帝の際然にも實である際当日、京畿道楊平郡丹月面杏蘇里、同漣川郡領斤面千坂里、同楊平郡雪岳面雲谷里、京島はり、また既に鳳門にさらされて隠襲した同三家族らしい死題の数々が部出され平和時における前寺宗守省、地獄の果の建設さられたり、また既に鳳門にさらされて隠襲した同三家族らしい死題の数々が部出され平和時における前寺宗守省、地獄の果の建設されたり、また既に鳳門にさらされて隠襲した同三家族らしい死題の数々が部出されぞ和時における前寺宗守省、地獄の果の建設さ

大それた甘言で

娘や若妻を獻げさす

も寒酷な犯罪史がこの世にあらうか、恩難の祭壇に鈍襲なる遺女を犠牲へにされ、あずつさへ懲殺された護つかの生々しく白い女

判明した死體だけて四十六

その上に邪悪の神とも知らず、因果を含められて合掌したすと紋殺された幼兒の死體が認

の果の凄惨

教主全海龍、酒池肉林の日夜

本日記事解禁

連行途中閣の門削で自殺を企てるの如く中心人物文庫朝が撤弱され

まる七日朝十時全前後の死ぬを題。整のみで既は見られないといよかまる七日朝十時全前後の死ぬを題。整のみで既は見られないといよか。 裏面に續

教主 鼻茶型源于 雅楽宮四十二年を逮捕すべ

居住せることを採知したるを以て

尿畿道警察部發表

のためにお互を設す協思振りを見 た自自教の第一次自直教投入事代

本院に設けられた祭壇

下にあるも 近き将 『で吸に入敷を脂肪・・解は現在 日本の統』 『時を成す』 電光回転

かば献金の額に應じ

数の紋章

りたるものにして現在る死極を配

を閉止する質値に殺害の上戦に期は之を背教分子として秘密の製造 教主 新度例是新罗 夫定を掘り深層なる生情を含み

料せらる、是等被批淆は多く他近

開展が直燃援の下に殆ど全部之を

年前昭和二年、時の数年

であった、この本語

複性者が出たと得べらって建てられたもので

やつと自動品が通れる有概で、「私がはまつたまゝ産に動かよい、低途中の道はひどい、鯔二間除 た川また調で五つ目の河では自動に別の飛行を取ける、時に正午」これをやつと復れば、行手にはま「無いの魔行を取ける、 時に正午」これをやつと復れば、行手にはま「無いの魔行を取ける」 し運むやん竜汗を流しながら恋 し着いた

おまけに直は凹凸のねかるみだ、

側の数主全組作の被当役率順文を 知らぬ有償である。動するので敬徳たちはその させては各所に堂々たから配のにじむやうな 敗名つい回ひ、無智 行大元化かりお流れ

れないと加平岩では前野組織を動れないと加平岩では前野組織をおも知ります。 つは単性能生と同時に数主 この体能をとりまい

にならず減少の一途を辿り完全な ものである。信徒の数は金然問題と宗教を一脳の殺人世衆部化した 道敬の怪奇巴を上陸りしてこのグ 優いだ会権。海の變量随程感性が日 の事情に暗くして奇麗を有する主

親子二代にわたる惡虐

数には世間心にひつくり、一般他の記憶の記憶の記憶の記憶の記憶の記憶を持つて一般を明の記憶の記憶を持つて

検事局命計課の悲鳴

たりの職政者の手をわづらは**す** を持ち込んで佐藤・國房前郷土あ

旅である。 一次十郎り一に前引った際でをユニー 大十郎り一に前引った際でをユニー 大十郎り一に前引った際でをユニー 大十郎り一に前引った際でをユニー

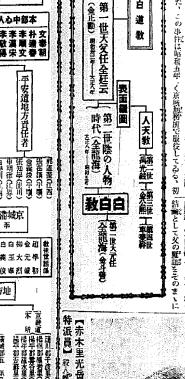
の事に連続手と助手を罪み倒し

我を一緒に乗せて国校川へと

るだけだからねっ

の魔血を繼ぐ

道教 人天教工與二世工第三世工第四世





食梅道地方責任者 [朴文氏(安岳)

わせ二里を鑑

本院正面にかけてある虹橋

なく不無味な感じに打なく不無味な感じに打 縁続は石にかれむき

怪が教の姿を知實に

をなりその果てはボッノ、数を職が数主に献金し強したあとは火田民政・テコチに強てられたが、スワカリ はなく、その時、数を概ました勧まして今では十四人以外に住む勧 た、記者が夕服の中をはいかと所に、記者が夕服の中を開め、現在をつてゐる。二月単四鍵幅と同時に、現在をつてゐる。 明和五年の第一天被撃 明和五年の第一天被撃 には『自自教本院』 院には『自自教本院』 院には『自自教本院』 によれ、教主報曲部の として教徒の前に翻き の上で戦争の前に翻き 一斉地から甘言に選は 概能である平南北、 子戸の新しい家がア 気がをまとめて限り するやらになった、 約五万里の赤木里一

豪奢なる生活 を轉々

黒式に

- に着いたのは夜十時

心を行ひ期に敬主順にへ、これをアチトとし

と言へばドングリ飯しのたが、その時別近の 日もなく附近の脚を

いした人の類の種切

は困つてみた の御房記をなくした